



工芸

七宝をつくる

七宝とは、七宝焼きの略で、金属の下地の上に透明や不透明の釉薬をのせて絵付けをし、約800℃の高温で焼きつけた工芸品のことです。七宝焼きの基本的な技法を生かして、アクセサリーなどの小物をつくってみましょう。

ブローチをつくろう

七宝のペンダントやブローチをつくってみよう。



① 素地をつくる。木型に打ち出して皿状にくぼめる。両面を紙やすりでよく磨いておく。



② 裏面にホセ（素地に釉薬を盛りつける竹べら）で裏引き釉薬を盛る。



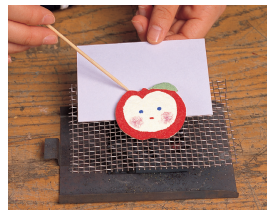
③ 水分をガーゼなどで吸い取り、炉の上で乾燥させる（電気炉はあらかじめ温めておく）。



④ 釉薬は水洗いし、不純物を取り除く。濁りがなくなるまで4、5回繰り返して洗う。



⑤ 表面に釉薬を盛る。水分をガーゼなどで吸い取って炉の上で乾燥させる。



⑥ 盛りつけた釉薬が取れないように注意しながら、金網の上で静かに移す。



⑦ 電気炉に入れ、約800℃で焼成する。炉内の火の色と同じになったら取り出し、自然に冷ます。



⑧ 細目の金属やすりで釉薬のはみ出しを削り、仕上げる。



完成作品 [5×5cm]